

INFO-HIRO-21

第455号 2018年8月16日
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

医工連携セミナー開催のお知らせ

弘前大学理工学研究科附属医用システム創造フロンティアでは、医療機器・医薬品に関連した医用シーズの開発・知財戦略や企業へのライセンスアウトに関するセミナーを開催します。

また第2部として、東北大学病院臨床研究推進センター（CRIETO）の研究支援体制と日本医療研究開発機構（AMED）による大型の研究委託事業について説明会を併催します。

本セミナーは、特に大学研究者、企業の技術研究者や知的財産管理を担当する方、および今後医療機器産業への展開を考えている企業様の企画や技術担当の方を対象としています。

是非、この機会をご活用いただきますようご案内申し上げます。

- 日時 平成30年8月27日（月） 16:00～18:00
- 場所 弘前大学理工学部1号館4階 第8講義室
- 主催 弘前大学理工学研究科附属医用システム創造フロンティア
共催 ひろさき産学官連携フォーラム・医工連携研究会
後援 公益社団法人 精密工学会東北支部（予定）
公益社団法人 日本材料学会東北支部（予定）
- 内容
16:00～17:00
第1部「医用技術の実用化に向けた知的財産の活用」
東北大学病院 臨床研究推進センター 知財部門 外越 康之

17:00～18:00
第2部「CRIETOの支援体制とAMED事業の紹介」
(1) 「CRIETOの支援体制とAMED橋渡し研究支援事業の活用」
東北大学病院 臨床研究推進センター 開発推進部門 知財部門

(2) 「教育部門及び橋渡し事業等主催の研究会のご紹介」
東北大学病院 臨床研究推進センター臨床研究ネットワーク部門 三浦 俊英
- 参加費 無料

弘前大学大学院理工学研究科
附属医用システム創造フロンティア
医工連携セミナー

日時：平成30年 **8月27日**（月） 16:00～18:00
場所：弘前大学理工学部 1号館4階 第8講義室
※部屋が変更になりました

【プログラム】
第1部（16:00-17:00）
「医用技術の実用化に向けた知的財産の活用」
東北大学病院臨床研究推進センター 知財部門 外越 康之
第2部（17:00-18:00）
「CRIETOの支援体制とAMED橋渡し研究支援事業の活用」
東北大学病院臨床研究推進センター 開発推進部門・知財部門
「教育部門及び橋渡し事業等主催の研究会のご紹介」
東北大学病院臨床研究推進センター 臨床研究ネットワーク部門 三浦 俊英

※説明会終了後に個別相談・質問を18時までお受けします。
主 催 弘前大学理工学研究科附属医用システム創造フロンティア
共 催 ひろさき産学官連携フォーラム・医工連携研究会
後 援 公益社団法人 精密工学会東北支部（予定）
公益社団法人 日本材料学会東北支部（予定）

＜お問い合わせ＞
弘前大学理工学研究科 附属医用システム創造フロンティア事務局 柴田 輝加
TEL: 0172-39-3684 E-mail: shibata@hiroaki-u.ac.jp

**東北発 医療技術開発を一緒に考えてみませんか？
ご参加お待ちしております！**

6. お問い合わせ連絡先

弘前大学理工学研究科 附属医用システム創造フロンティア

担当：事務局 柴田 理加

電話：0172-39-3684

e-mail: shibata@hirosaki-u.ac.jp

7. その他

機関から複数の参加を歓迎します。

「第20回 青森継続看護研究会」のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科 地域保健医療教育研究センター 多職種連携推進部門では、「精神障がいを持つ人との共生社会の実現を目指した現状と課題」をメインテーマとした教育講演及びシンポジウムを下記のとおり開催いたします。どなたでも参加できます。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 平成30年9月17日（月・祝）
13:00～17:00
2. 会 場： 弘前大学医学部保健学科 第33講義室
3. 参 加 費： 無料（事前申し込みは不要です）
4. プログラム：

○教育講演「精神障がい者を地域で支える～看護師の役割と看護連携・多機関多職種連携～」

講師：東 美奈子 氏（訪問看護ステーションRelisa/相談支援事業所
一般社団法人日本精神看護協会 代表理事 副会長）

座長：木立 るり子 氏（弘前大学大学院保健学研究科 教授）

○シンポジウム「精神障がい者の生活を支える」

ファシリテーター：則包 和也 氏（弘前大学大学院保健学研究科 講師）

シンポジスト：

根本 俊雄 氏（サンネット青森 代表）

盛 由美子 氏（愛成会病院 在宅生活支援センター 副所長）

工藤 弥生 氏（弘前保健所 主幹）

三浦 暢子 氏（地域生活支援センターぴあす 所長）

※この事業は、公益社団法人青森医学振興会の助成を受けて開催します。

【問い合わせ先】弘前大学大学院保健学研究科 山田基矢

TEL：0172-39-5951

FAX：0172-39-5908

E-mail: yama3010@hirosaki-u.ac.jp

第20回 青森継続看護研究集会
精神障がいをもつ人との共生社会の
実現を目指した現状と課題
2018年9月17日 Mon
13:00～17:00(12:30～受付)
弘前大学医学部保健学科
第33講義室 〒036-8564 弘前市本町44-1

教育講演 13:00-14:30
テーマ
精神障がい者を地域で支える
～看護師の役割と看護連携・
多機関多職種連携～
東 美奈子 氏
訪問看護ステーションRelisa/相談支援事業所
日本精神看護協会 代表理事・副会長
座長 木立 るり子 氏
弘前大学大学院保健学研究科 教授

シンポジウム 14:40-17:00
テーマ
精神障がい者の生活を支える
ファシリテーター
則包 和也 氏 弘前大学大学院保健学研究科
シンポジスト
根本 俊雄 氏 サンネット青森代表
盛 由美子 氏 愛成会病院看護課
在宅生活支援センター副所長
工藤 弥生 氏 弘前保健所 主幹
三浦 暢子 氏 地域生活支援センターぴあす所長
精神保健福祉士・社会福祉士

「精神障がいをもつ人との共生」のテーマを通じて
地域包括ケアについて一緒に考えませんか。
どなたでも参加いただけます！
皆様是非ご参加下さい！
本事業は、公益社団法人青森医学振興会の助成を受けて開催いたします。

【問い合わせ先】
弘前大学大学院保健学研究科（山田）
TEL 0172-39-5951 FAX 0172-39-5908
E-Mail yama3010@hirosaki-u.ac.jp

平成30年度 弘前大学総合文化祭「知の創造」、保健学研究科 市民公開講座

『医療のいろは・放射線は道しるべ』開催のお知らせ

放射線画像診断は、身体の外から体内へ
アプローチする道しるべ
放射線診療はあなたの健康を守る道しるべ
放射線治療は、未来をひらく道しるべ
歯みがきは、未来の健康への道しるべ

この度『医療のいろは・放射線は道しるべ』をテーマに市民公開講座を開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は、当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2018年10月19日（金）
17時30分～19時00分
2. 会 場：弘前大学創立50周年
記念会館 2F 岩木ホール
3. テーマ：『医療のいろは・放射線は道しるべ』
4. 内 容：講演1 「子供の歯を守るために。」
細川 洋一郎 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）
講演2 「知っておくと役に立つ放射線検査の基礎知識
～切らずに体の中が見える訳～」
齋藤 陽子 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）
5. 入場料：無料
6. 対 象：一般市民・学生
7. 問合せ：弘前大学大学院保健学研究科総務グループ（電話0172-39-5905）



※本事業は「国立大学フェスタ2018」（<http://www.janu.jp/univ/festa/>）に参加しています。

2018年 弘前大学白神研究会 夏の観察会（再掲）

「白神山地 ～大川周辺の動いている地すべりの観察～」

▽と き 8月25日（土）午前10時00分～午後3時（雨天決行）

▽集 合 道の駅「津軽白神」（「ビーチ西目屋」）
駐車場（車のない方はお申し出下さい。9時弘前大学正門集合）

▽コース 大川林道終点手前サンスケ沢地すべりーナベクラ沢対岸地すべりー大川林道終点

▽参加人数 20名

▽対 象 小学4年生以上（小中学生は保護者同伴）3時間ほど歩きますので、高血圧、心臓疾患など持病のある方は、医師にご相談の上、慎重に参加ご検討下さい。

▽服装・装備 服装はハイキング用で十分です。手袋、帽子があるといいです。雨具は必ずお持ち下さい。上下別の合羽が理想的です。傘は不向きです。履き物は、トレッキングシューズ、ハイキングシューズあるいは長靴、川を渡りますのでぬれても構わない履き物で参加して下さい。虫除け、かゆみ止めをお持ち下さい。お弁当、飲み物も。

▽参加費用 1人1000円（テキスト・傷害保険代金）＊白神研究会会員の方は500円

▽主 催 弘前大学白神研究会
協 力：弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター

▽問い合わせ&申込
弘前大学農学生命科学部 白神研究会事務局：中村 Tel/Fax 0172-39-3707
E-mail：dhalma@hirosaki-u.ac.jp

▽締切日 最終申込日は8月17日（金）ですが、定員になり次第締め切ります。



弘前大学白神研究会
協力：弘前大学農学生命科学部
白神自然環境研究センター

**平成30年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル」～自分らしく過ごすためにできること～
開催のお知らせ（再掲）**

弘前大学医学部附属病院が主催で、一般市民を対象に平成30年度「みんなで知ろう！がんフェスティバル」～自分らしく過ごすためにできること～を開催いたします。

がん患者やその家族の視点に立った情報提供を推進するとともに、がんになってもそれと共生できる社会の構築を目指し、正しいがんの情報を提供いたします。

1. 日 時： 平成30年8月26日（日）12：30～16：30（開場12：00～）
2. 場 所： 土手町コミュニティパーク多目的ホールA/B ポム広場
〒036-8182 青森県弘前市土手町31番地
3. 内 容： 第1部 体験：「がん患者さんのための運動教室」
講演：「青森県におけるがんに関する情報と取り組み」
情報提供：「がん相談支援センターの役割」
講演：「緩和ケアについて」
第2部 体験：「がん患者さんのための運動教室」
市民サークル 津軽カタリスト：「（朗読劇）はしれメロス」
ヨガインストラクター：「いつでもどこでもかんたん椅子ヨガ」
4. 対 象： 一般市民
5. 入 場 料： 無料
6. 事前申込： 不要
7. 問い合わせ先： 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター
TEL：0172-39-5174（直通）



弘前大学大学院保健学研究科「平成30年度 被ばく医療研修」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学大学院保健学研究科では、本学が掲げる「放射線科学及び被ばく医療における安心・安全を確保するための国際的な教育研究の推進」の一環として「被ばく医療人材育成推進プロジェクト」を展開しており、平成22年度からスタートした看護師と診療放射線技師を対象とした緊急被ばく医療短期教育プログラム「被ばく医療研修（旧名称・現職者研修）」の開催も今年で9回目となります。被ばく医療や放射線に関する知識の習得、他職種との協働を目的とした講義・演習に加え、2日目の演習では実際の被ばく事故を想定したシミュレーションを本番さながらの緊張感をもって実施いたします。

本研修は入門的内容となっておりますので、初めて被ばく医療を学ぶ方、放射線の基礎知識の習得や復習をお考えの方、また、他職種とのチーム連携や教育ネットワーク作りに興味のある方にも大変お勧めです。どうぞお気軽にご参加ください。

【募集コース】 看護職コース / 診療放射線技師コース

【開催期間】 平成30年9月1日（土）～9月2日（日）

【開催場所】 弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66-1）

【対象者及び募集人数】 看護職者及び診療放射線技師 合わせて20名 ※先着優先

【プログラム】 ホームページ内に掲載されているプログラムをご覧ください。

被ばく医療人材育成推進プロジェクトホームページ

(URL) <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/>

【受講料】 無料

【申込方法】 Eメールによる事前申し込みとなります。

上述サイトの特設ページからお申し込み手続きを行ってください。

【締め切り】 平成30年7月16日（月・祝） ※定員に達し次第早期締め切り

【その他】

- ・その他詳細についてはホームページをご覧ください。
- ・本研修は原子力規制庁が実施する「原子力災害時医療中核人材研修」とは異なりますのでご注意ください。



◎お問い合わせ先

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田, 柏村

e-mail: hh_hh@hirosaki-u.ac.jp

Tel: 0172-39-5518

Fax: 0172-39-5912

「北東北女性研究者 研究・交流フェア2018」開催のお知らせ

「北東北女性研究者 研究・交流フェア2018」がいわて県民情報交流センター(アイーナ)(岩手県盛岡市)で開催されます。この事業は、本学も参画している文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)「ダイバーシティ実現で北東北の未来を先導」の一環として開催されるものです。

北東北地域における女性研究者の研究活動の活性化, 女性研究者間や企業等との相互交流, ネットワーク活動の実現化を図ることを目的とし, 共同研究発表の他, 研究リーダー力向上支援セミナーやランチタイム交流会も行われます。ぜひご参加ください。

日 時: 平成30年9月19日(水) 10:30~16:00

場 所: いわて県民情報交流センター(アイーナ)
7階 小田島組☆ほ〜る(岩手県盛岡市)

対 象: 本事業連携機関及び参加機関の他, 関係機関,
企業等の女性研究者・技術者・大学院生テーマに
関心のある方など

※性別, 分野を問わず参加できます。

※当日無料託児有り(申込締切9月12日(水)12時)

参 加 費: 無料(申込締切9月12日(水)) ※当日参加も受付けます。

内 容:

○10:35~11:35 共同研究概要発表タイム

○11:50~13:00 ランチタイム交流会

○13:30~13:40 オープニングセレモニー

○13:40~14:40 研究リーダー力向上支援セミナー

講師: 鷹野 景子 氏(お茶の水女子大学教授, 元副学長)

「キャリアアップを目指す上で求められるリーダー力とは

— 女性研究者活動支援事業の経験から —

○14:50~15:55 ポスターセッション

○16:00~クロージングセレモニー

主 催: 岩手大学, 北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議

共 催: あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク,
いわて女性研究者支援ネットワーク

申込み・問合せ先: 岩手大学男女共同参画推進室

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8

E-mail: equality@iitate-u.ac.jp / Tel: 019-621-6998 Fax: 019-621-6999



男女共同参画シンポジウム「大学のダイバーシティ推進と人材育成—産業界からの期待」

開催のお知らせ

北東北国立3大学（秋田大学・岩手大学・弘前大学）の連携による、より一層の男女共同参画の推進を図るために、男女共同参画シンポジウムを開催します。本シンポジウムは、各大学の取組について学内外に情報発信するとともに3大学に共通する課題を明らかにし、解決策をともに考える場として平成22年度から3大学が持ち回りで開催しているものです。

弘前大学が主催校となる今年度は、大学におけるダイバーシティ推進に係る最近の政策や議論の動向等を踏まえ、「大学のダイバーシティ推進と人材育成—産業界からの期待」をテーマとして開催します。参加は無料です。是非ご参加ください。

日 時：平成30年9月21日（金）14:00～16:00

場 所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大8階 八甲田ホール

対 象：北東北国立3大学の教職員・学生
地域の大学・研究機関・企業等の関係者
地域の方々 等

内 容：○14:00～14:05／開会挨拶

弘前大学 理事 石川 隆洋

○14:05～14:45／基調講演

東北経済産業局長 相楽 希美 氏

○14:45～15:05／取組報告

3大学男女共同参画推進室長

○15:05～15:40／パネルディスカッション

パネリスト：3大学担当理事

コメンテーター：相楽 希美 氏

モデレーター：安川 あけみ

（弘前大学男女共同参画推進室長）

○15:40～15:55／質疑応答

○15:55～16:00／次回当番校挨拶 菅原 悦子 氏（岩手大学理事）

○16:00／閉会

主 催：弘前大学

共 催：秋田大学 岩手大学

後 援：あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク、青森県

申込み・問合せ先：弘前大学男女共同参画推進室E-mail／equality@hirosaki-u.ac.jp

電話0172-39-3888／FAX 0172-39-3889

※参加申込用紙にご記入の上、9月14日（金）までにメールまたはFAXで申し込みください。

（参加申込書は推進室ホームページからダウンロードできます。）

<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/6670.html>



弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会「世界を照らすLED」のお知らせ（再掲）

学術的に著名な識者を弘前大学に招き、学術講演会を開催することで、学内教職員の研鑽意識を高めるとともに、学生にレベルの高い学習機会を提供すること、また、学外へも広く周知し、地域還元することを目的として下記のとおり弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会を開催します。

本講演会では、2014年ノーベル物理学賞受賞 名古屋大学大学院工学研究科教授 天野 浩氏をお招きして御講演いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

■日 時：平成30年10月18日（木）13:30～15:00

■会 場：弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
（先着300名 ※要申込）

■講 師：2014年ノーベル物理学賞受賞
名古屋大学大学院工学研究科教授 天野 浩 氏

■演 題：「世界を照らすLED」

■詳 細：<http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/20181018-kouenkai>

■対 象：一般の方，教職員，学生

■申 込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上，
以下の電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。

■申込締切：平成30年10月10日（水）
（ただし，定員を超えた場合は申込みを締め切らせていただきます。）

■入場料：無料

【問い合わせ・申込み先】弘前大学 研究・イノベーション推進機構
T E L：0172-39-3907 E-mail：kensui@hirosaki-u.ac.jp
H P：<http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/>



平成30年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」

「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ（再掲）

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に，放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い，放射線を身近に分かりやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

【日 時】 ●第7回トレーナーズトレーニング
平成30年10月27日（土），28日（日）

【場 所】弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66番地1）

【テーマ】「看護職の原子力・放射線教育のための
トレーナーズトレーニング」

【対 象】主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も
受講できます。（先着20名）
※申込先着順で定員に達し次第，申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】1日目：13時30分～18時00分（会場・受付開始／13:00）
≪講義≫①放射線利用における看護職の役割
②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎
③放射線による健康影響とリスク



2日目：8時30分～13時00分

《実習》①自然放射線の理解

放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察

②外部被ばくに対する防護方策

放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離）

③移動型エックス線撮影装置に対する防護方策

撮影現場における線量の把握

注）予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】 無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊（2016）をテキストとして無料配布します。

【申込方法】 Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>

【主催】 公益社団法人日本アイソトープ協会

【協賛】 弘前大学大学院保健学研究科

*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」として3ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）で実施しています。

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：柏村）

電話：0172-39-5518 E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

「日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)」開催のお知らせ（再掲）

日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)の開催をご案内します。詳しくは下記URLをご覧ください。多くの方々のご参加をお待ちしております。

会 期： 平成30年11月3日(土)～11月4日(日)

会 場： 弘前大学 創立50周年記念会館

URL：<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/sccj2018autumn/>

研究発表主題： ・計算化学（分子軌道法，分子力学法，分子動力学法，モンテカルロ法など）

- ・理論化学（電子状態理論など）
- ・情報化学（データベース，ケモメトリックスなど）
- ・数理化学，コンピュータ支援化学教育，その他コンピュータ化学に関する研究

発表形式： ・口頭発表
・ポスター発表

申込み締切： ・発表申込み： 8月17日(金)
・講演要旨原稿： 9月18日(火)
・事前参加登録・懇親会参加予約： 9月18日(火)
申込みは上記URLの各フォームからお願いします。

特別講演： ・石川顕一 先生（東京大学）
・長岡正隆 先生（名古屋大学）

一般公開イベント： 1日目(11月3日) 10:00～12:40開催 「科学発信!! Hirosaki」

一般、特に高校生向けに学会の一般公開・科学イベントを開催します。計算と化学の面白さを広く知っていただけるようなデモ展示や講演などを実施します。

招待講演：「みんなのスパコンTSUBAME3.0 “いろんなところで役立つスパコン”」
渡邊寿雄 先生（東京工業大学）

ブース展示： デモ展示・演示実験、高校クラブ等のポスター発表

事前の参加申込みは上記URLのフォームからお願いします。

参加費： 無料

定 員： 80名程度

申込み締切： 10月12日(金) ※人数に余裕がある場合には当日参加を受け付けます。

主催： 日本コンピュータ化学会

共催： 日本化学会、弘前大学

協賛： 高分子学会、CBI学会、触媒学会、日本薬学会、分子科学会

お問い合わせ先： 実行委員会委員長 岡崎 功

実行委員会委員 丹波 澄雄、宮本 量、山崎 祥平

(弘前大学大学院理工学研究科)

(tel 0172-39-3661, email sccj2018autumn@st.hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学資料館第20回企画展について

弘前大学資料館では第20回企画展「大学で描く～学び、記録する学術スケッチ～」を7月30日より9月29日まで開催いたします。

学術研究のさまざまな場面で具体的な研究対象や抽象的なイメージを図に表す行為は物事を記録、理解、整理する上で重要な作業です。写真の方が手軽で客観性もあり、正確だと思われがちですが、絵を描く時には対象物をよく観察し、理解し、平面上に表現するため、正しく丁寧に描かれた図は一般的な写真より分かりやすいものです。学習効果も絶大で、学生がものを学ぶ上でスケッチは大切なトレーニングの一つです。この展示では、研究者や学生がものを描くことの意義を伝え、その技術の一端を紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第20回企画展

「大学で描く～学び、記録する学術スケッチ～」

会 期：2018年7月30 日（月）～2018年9月29 日（土）
（日・祝・休日は休館）

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

・弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター

電話：0172-39-3707 E-mail：dhalma@hirosaki-u.ac.jp



博士論文公聴会のお知らせ

弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程機能創成科学専攻の博士論文公聴会（予定）（再掲）

日時：平成30年8月22日（水）10：20～11：20

場所：理工1号館4階の7番講義室

学位申請者：Chahtou Amina(シャハトウ アミナ)

論文題目：アルミナからアルミニウムへの炭素熱還元プロセスの研究
(Study on Carbothermal Reduction Process from Alumina to Aluminum)

問い合わせ先：弘前大学理工学研究科 機能創成科学専攻（併任） 伊高 健治

Tel: 017-762-7760 E-mail: itaka@hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

弘前大学出版会から新刊のご案内

編者：アウトプット展実行委員会

監修：岩井康頼（教育学部名誉教授）

『どう見える？ 生きる跡 アート—青森県特別支援学校発 造形作品展の記録—』（B5判，104頁，定価2,484円：税込）を出版しました。

～紹介文～

人間が生きることの理由（なぞ）。

それが本書にあります。

障害がある人たちの美術作品の奥には、何かを伝えようとする「強さ」

「自由さ」が潜んでいます。

それは生命が前に向かおうとする運動そのものの姿です。

「創造の原点」を目覚めさせてくれた展覧会『どう見える？ 生きる跡 アート アウトプット展』（2015年）の生きた記録である本書によって、作品を「解釈」するのではなく、「むき出しのまま受け止める」ことの心地よさをぜひ体験してください。



ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

このたび、教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申込みは不要です。

日 時： 平成30年9月27日（木）

14：30～15：30（時間内は出入り自由です。） ※以降の日程は調整中です。

場 所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対 象： 本学の教職員

参加スタッフ：室長，コーディネーター，カウンセラー，学生課職員

問い合わせ先：弘前大学学生特別支援室

T E L : 0172-39-3266 (内線3266)

E-mail : g-shien@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来，平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して，国際化や男女共同参画の推進，学生支援の充実など，主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては，多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが，創立70周年記念事業を成功させるため，更なるご支援を賜りますよう，何卒よろしくお願い申し上げます。

なお，創立70周年記念事業のホームページでは，クレジットカードによる寄附も可能でございますので，ご活用いただければ幸いと存じます。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】 <http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>

学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため，学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが，オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

【中止】 平成30年8月16日（木）15：00～17：00

【変更】 平成30年8月29日（水）15：00～17：00

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室） T E L : 0172-39-3004

U R L : <http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では，各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では，「発見！国立大学」において，弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第49号」

<http://www.janu.jp/report/koho/49gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029